校訓
自立創造
高い志を抱いて
自分の人生を自分の力で切り拓く

校是
文武両道
学習と部活動を両立させ
知力・体力ともに磨く

校長からのメッセージ

諫早高等学校・附属中学校は、中学１年生から高校３年生まで、およそ１，１８０名の生徒が在籍する中高一貫教育校です。中高６年間の特色ある教育活動を通して、自分自身の人生を切り拓く「志」を育みながら充実した学校生活を送っています。生徒たちは、「楽ではないけど楽しい」と学校生活を語ります。本校の校歌にある「若き生命（いのち）の花」を咲かせるため努力を重ねながら、学校生活を送っています。

本年度の中学校第１学年は“BLUE STARS ～藍より青く～ ”、第２学年は“Green Grit”、第３学年は“Realize！Eleven's Dream”とそれぞれの学年色を基にしたスローガンを設けました。

本校では、様々な活動を通して、互いのつながりを実感しながら夢の実現に向けて、自ら学び成長し続ける（自走できる）生徒を育てるとともに、中学・高校の教職員が連携し「諫早高校・附属中学校に来てよかった」と感じるような学校づくりに努めています。

第五代校長　堤　敏博

〔育成したい生徒像〕

・人間性豊かにして徳、知、体の調和のとれた社会に有為な逞しい生徒
・地域社会や国際社会の一員としてその魅力と可能性を追求し、課題の発見・解決に向けて自らの意思で行動できる生徒

〔学びの方針〕

・確かな学力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実践と「繋ぐ力」の育成
・個々の進路実現に向け、生徒の「強み」を理解するためのキャリア検討の実施
・主体的・協働的・創造的な学びを実践し、「物事を『問題化』する力」「他者を受け入れ、応える力」「真の情報を活用する力」等の能力の育成

〔求める生徒像〕

・向上心が旺盛で主体的に学習に取り組み、継続的に日々努力できる生徒
・リーダーシップを発揮し、協働的に活動できる生徒

本校は、県内３番目の県立中学校として平成 23 年に開校しました。開校から１０年以上が経ち、現在 Next Stage へと歩みを進めています。次年度は １４回生を迎え入れることになります。併設型中高一貫教育校として校訓や教育方針は、中学校・高校とも同一のものとし、６か年を見据えた教育活動を行っています。体育大会等の学校行事は、中・高合同で行い異年齢交流による教育効果を最大限に生かしながら、一人一人の成長を図っています。また、本校は、中学棟がある利点を生かし、中学校独自の活動にも集中して取り組むことができます。

諫早高等学校創立１００周年を記念し、中学棟の玄関前に、同窓会から寄贈された時計塔が設置されました。これは、青空に手を伸ばしている生徒の姿をイメージしています。

校章は、柏の葉にひらがなの「い」を重ね、交差する根元に矢じりを配しています。諫早の「い」とそれが三つで「さ」、柏の葉が「は」で矢じりが「や」を表しています。

先輩からのメッセージ

私は南島原市内から通学しています。片道１時間半近くかかるので少し大変です。同じ小学校に通っていた友人が一人もいないため、入学当初はとても不安でした。しかし、学校へ行くと私と同じような気持ちで学校へ通学している仲間も少なくないことが分かり、心が軽くなりました。また、附属中には自分と同じように受検を乗り越えてきた仲間がいるためとても心強いです。とてもやさしい先輩方ばかりで、分からないことを聞くと親身になって対応してくださったり、相談をすると心に寄り添って話を聞いてくれたりします。附属中では、仲間や優しい先輩方、面白い先生方とともに充実した学校生活を送ることができます。みなさんも私たちと一緒に「附属中」で学校生活を送りませんか？

中学校1年　南島原市立南有馬小学校出身

諫高附属中学校はたくさんの小学校から生徒が入学してきます。私は初めて会う人たちとなかよくなれるか心配でしたが、新入生交流会をはじめ島原・雲仙フィールドワーク、百人一首大会など様々な行事を一緒に体験していく中でたくさんの仲間ができました。諫高附属中の校是である「文武両道」を目指して、私は大きく二つの目標を立てています。一つ目は英語力を高め、海外の人たちと交流をすることです。二つ目は部活動で個人・団体ともに九州大会へ出場することです。両方を達成するためには、限られた時間の中で集中して取り組み、諦めないことが大切だと思い毎日頑張っています。諫高附属中には、困難にぶつかった時に手を差し伸べて下さる先生方や、優しくアドバイスをしてくれる先輩、共に助け合える仲間がいます。自分の目標を達成する為の環境がそろっている諫高附属中学校への入学を目指し、ぜひ受検に挑戦してみてください。

中学校2年　諫早市立飯盛東小学校出身

私はレスリングを習っており、週に 3 日練習に通っています。土日には県外での練習や合宿もあり忙しいため、入学当初は勉強と両立できるか不安でした。しかし、実際はそんな心配なんていらず、勉強どころか運動部にも所属しながらレスリングを続けることができています。附属中は、勉強面でのサポートはもちろん、そのほかにも部活動のことや校外活動のことまでも支えとなってくれてとても充実した学校生活が送れています。また、高校生に授業に入っていただく時間があることや、普段から話す機会が多くあることもこの学校ならではだと思います。皆さんも附属中で私たちと楽しい学校生活を送ってみませんか。

中学校3年　大村市立放虎原小学校出身

諫早高校附属中の魅力は、成長できる環境が整っているというところです。先生方の授業の質が高いのはもちろんのこと、附属中に入学する生徒たちは自分より勉強が得意な子や皆をまとめるのが上手な子、誰よりも努力ができる子などさまざまです。自分よりも「何かに優れた人」が身近にたくさんいることで、ともに切磋琢磨して高めあうことができます。また、附属中では、校外学習への参加にも力を入れています。普段学校で生活しているだけでは得られない経験や知識、感動を得ることができ、大学受験だけでなく、社会に出ていく上でも必ず役に立つと思います。自分自身を成長させるために、あなたも中学受検に挑戦してみませんか？僕たち諫高・附属中の先輩たちも、みなさんの入学を心待ちにしています。

高校１年　雲仙市立愛野小学校出身

校歌

作詞　風木雲太郎
作曲　信時　潔

有明の
光は清明に
多良岳の
高き心を仰ぎみる
青葉の街に母校あり
藤むらさきの夢匂う
若き生命花と咲く
真理の春はここにあり
学びの道はここにあり
母校その名に栄えあれ